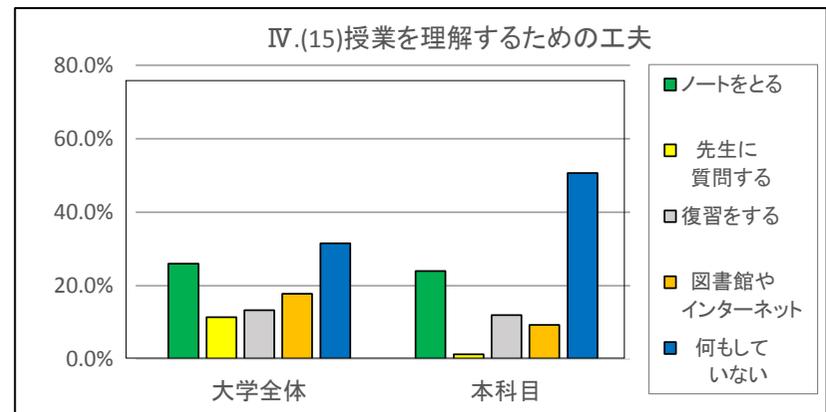


※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	24.0%	1.3%	12.0%	9.3%	50.7%



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.13	3.45
	I.(2)	3.39	3.56
	I.(3)	2.07	3.07
講義内容・方法	II.(4)	2.89	3.01
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.33	3.33
	II.(8)	3.53	3.42
	II.(9)	2.89	3.30
	II.(10)	2.96	3.23
	II.(11)	2.23	3.21
	II.(12)	3.39	3.48
	II.(13)	3.49	3.45
満足度	II.(14)	3.29	3.41

授業年度	2017年度後期
時間割番号	32203
科目名	チーム医療論
教員名	辻下 守弘

①授業計画の達成度について

授業計画通りに授業を進めた。毎回の授業では、授業計画に基づいて授業内容の趣旨と目的を説明し、2回目以降の授業では必ず前回の授業を復習をした上で授業を進めるように努めた。質問や疑問などについても毎回学生に尋ね、授業に必要な知識の蓄積ができるように指導を行った。授業の資料は、授業計画どおりの内容を教員自身が作成し、毎回配布することで、授業内容を後で復習できるように工夫した。

②授業の進め方について

授業では、毎回教員自身が作成した資料を配布し、プロジェクターでその配布しよると同じスライドを提示して説明した。授業はマイクを使用し、教室全体に聞こえるような配慮をした。授業は、なるべくゆっくりと説明し、内容ごとに質疑応答して理解できるような授業の進め方に努めた。授業中の私語に対しては必ず注意し、授業環境の整備に努め、成績評価も客観的で平等となるように心掛けた。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

授業では教科書を使わずに、教員自身が作成した資料を配布し、それに基づいた授業を展開したために、学生がそれに依存しすぎて予習や復習など事業時間以外での勉学が不足した子を反省している。来年度は講義で使う配布資料に学生本人が主体的に関わらないと完成できないような課題を増やすことで、授業時間以外での学修を促すよう工夫する予定である。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	2.86	3.36
講義内容・方法 II.(4)~(13)	3.09	3.30
総合的満足度 III.(14)	3.29	3.41